

科目名	選択ダンススキル 3							年度	2024
英語科目名								学期	前期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	ARISA		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー	
【科目の目的】									
JAZZ HIPHOPではストレッチ、体幹トレーニング、基礎リズム、ステップ、振付を毎回行います。ラテンやヒール、イスやハットを使った表現など必要に応じた応用レッスンを行います。									
【科目の概要】									
この授業ではJAZZにおける基礎リズム、ステップ、ストレッチや体幹強化を通年通してトレーニングします。その上で毎回テーマに沿った振付を行い表現力を養います。ラテンやファンク、ワールドミュージックなど幅広いジャンルの音楽をテーマとすることで、様々な表現方法を学びます。また、フロアやヒールを履いての表現も学び、ステージングの意識付けも行います。									
【到達目標】									
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。									
【授業の注意点】									
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。				
到達目標 B	受講態度も良くストレッチの動きを理解しダンスの表現に活かせる。	受講態度も良くストレッチの動きを理解、習得している。	ストレッチの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	ストレッチの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くストレッチの動きの理解、習得度が出来ていない。				
到達目標 C	受講態度も良くJAZZの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くJAZZの基礎的なステップをやや理解、習得している。	JAZZの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	JAZZの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くJAZZの基礎的なステップの理解、習得ができていない。				
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。				
到達目標 E									
【教科書】									
適時レジュメ・資料を配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題 レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価するために実施する 授業内容の理解度を確保するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

